

会 議 録

□ 全部記録

■ 要点記録

1 会 議 名	第 6 回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議
2 開催日時	令和 7 年 9 月 2 0 日（土曜日） 1 8 時 0 0 分～1 9 時 0 5 分
3 開催場所	津田公民館
4 出席者又は欠席者名（敬称略）	（出席者）津田地区連合自治会加茂自治会：吉田達生会長、土島広紀副会長、本間忠副会長 〃 今在家自治会：井上清勝会長、八木実副会長、井上秀昭副会長、藤原昭一副会長 〃 構自治会：三木章司会長、渡邊浩副会長 〃 思案橋自治会：東龍太会長、鴨川敏之副会長、山本道人役員 英賀保地区連合自治会：魚田政敏会長、西川茂樹副会長 飾磨橋西地区連合自治会：水田勝啓会長、達賀善忠副会長 飾磨橋東地区連合自治会：大野光生会長、野田勝也副会長 （欠席者）津田地区連合自治会構自治会：木村正副会長 （事務局）農林水産環境局長、環境事業推進室長、環境事業推進室主幹、環境事業推進室 8 名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 4 名
6 議題又は案件及び結論等	報告 （１）事業の進捗状況について （２）事業の今後の予定について （３）実施方針について 議事 （１）津田地区連合自治会との協議の状況について （２）付帯施設（案）について （３）関連整備事業（案）について

- (4) 地域活性化施策（案）について
- (5) 地域環境整備事業（案）について
- (6) 今後の流れについて

7 会議の全部内容又は進行記録

詳細については別紙参照

第6回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議 会議録（内容）

会議の記録

●報告

（１）～（３）について事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

意見等なし。

●議事

（１）～（６）について事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：防犯灯の電気代の補助について、対象自治会を新美化センターから半径２ｋｍ以内としたのはなぜか。

事務局：新美化センターへの搬入車両が増加することにより、国道２５０号などの交通渋滞で影響を受ける自治会を対象とするため、姫路市の案として半径２ｋｍ以内と考えた。

出席者：同じ連合自治会内で補助対象と補助対象外の自治会に分かれるのは避けてほしい。

出席者：補助の期間は５年とのことだが、１年あたりの補助金額が少なくなっても構わないので、新美化センターの稼働期間は補助を継続してほしい。

事務局：現時点では新美化センターの稼働は２０年を計画している。本日の意見も踏まえて、補助対象は津田、英賀保、飾磨橋西・橋東地区連合自治会内の自治会で、補助の期間は２０年とすることで、市内部で検討したい。

出席者：津田地区連合自治会を対象とした地域活性化策については説明を聞き理解できたが、それ以外の地区の自治会の地域活性化策はどのように考えているのか。

事務局：資料７ページの津田地区連合自治会と協議し取りまとめられた意見のうち、防犯灯電気代の補助はすべての自治会が負担しているため公平に補助ができ、津田地区以外の自治会も補助対象にするメニューとしてふさわしいと考え提案した。

出席者：今治市のごみ処理施設を視察した際、発電がかなりできると聞き、そのようなイメージを持っている。新美化センターでもかなりの電力が発電できると聞いているが、例えば、新美化センターから発電された電気で姫路市全体の防犯灯の電気が賄えれば、市としても全国的に有名になるのではないかと。

事務局：補助の対象範囲や金額など、詳細については、本日の意見もふまえて市内部で協議していき

い。

出席者：防犯灯以外の事項も津田地区以外の自治会まで範囲を拡大してほしい。例えば、集会所や公民館の改修費用の補助率を上げてもらえないか。

事務局：集会所や公民館の改修費用の補助であれば、建設時期や改修のタイミングによって自治会間で不公平感が生じる可能性がある。防犯灯の電気代補助は自治会運営のプラスになるし、人口や規模も反映される。全体に偏りなく助成できるため、良いのではないかと考えている。

出席者：防犯灯の電気代の補助で良いと思う。

出席者：国道２５０号が渋滞時に町内の生活道路を抜け道にする車が多い。道路の拡幅などを期待しているが、具体的にどのような対策をしてくれるか。

事務局：例えば国道２５０号に並行した道路を新設しても、合流地点で渋滞してしまう可能性があるものであまり効果がないと考える。広畑幹線や夢前川右岸線などの既存の街路事業により、国道２５０号の交通量も大幅に減るシミュレーションがなされているので、課題として残しつつ整備の効果を見ていきたい。

出席者：既存の街路事業が完成し、シミュレーション通りに交通量が減ったとしても、新美化センターが稼働して元の交通量に戻ってしまっては意味がないので、その後の対策も考えてほしい。

事務局：新美化センター稼働後も引き続き交通量調査を継続し、依然として渋滞の状況が変わらないようであれば、その後の渋滞対策も姫路市全体の課題として考えていきたい。

以上